

Canon

BINOCULARS

10 × 30 IS II

12 × 36 IS III



IMAGE STABILIZER

JPN

使用説明書

キヤノン製品のお買い上げありがとうございます。

キヤノン 10 × 30 IS II と 12 × 36 IS III は、バリアングルプリズム方式による手ブレ補正機能を搭載したプリズム双眼鏡です。

ご使用になる前に、この使用説明書をお読みになって理解を深め、操作に慣れた上で正しくお使いください。

主な特長

- 野鳥観察やスポーツ観戦・観劇など日常生活の中で手軽に使える、手ブレ補正機能搭載の高性能双眼鏡です。(10 × 30 IS II は 10 倍、12 × 36 IS III は 12 倍です。)
- 左右どちらの手でも手ブレ補正を利用でき、使いやすさに優れています。
- 人間工学に基づいたデザインの採用により操作性、携帯性に優れています。

本文中のマークについて



故障など双眼鏡に不都合が生じる恐れのある注意事項が書かれています。



基本操作に加えて知っておいていただきたい事項が書かれています。

付属品

当製品には以下の付属品が付いています。

ケース	1
ストラップ	1
接眼レンズキャップ	2
単 3 形アルカリ乾電池	2

安全上のご注意 (ご使用の前に必ずお読みください)

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害が発生することが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 (双眼鏡について)



**1) 太陽を絶対に見ないでください。
失明の原因となります。**

- 2) 双眼鏡を直射日光のあたるところに放置しないでください。太陽の光が焦点を結び、火災の原因となることがあります。
- 3) ポリ袋 (包装用) などを小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口にあて窒息の原因になることがあります。
- 4) ストラップを誤って首に巻き付けると、窒息することがあります。

⚠ 注意 (双眼鏡について)

- 5) 双眼鏡を不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。
- 6) 双眼鏡を歩きながら使用しないでください。衝突したり、転倒したりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意（双眼鏡について -つづき-）

- 7) 双眼鏡のストラップを持って振りまわさないでください。他人に当たりけがの原因となることがあります。
- 8) 双眼鏡の眼幅調節の際に、指をはさみけがをすることがあります。小さなお子様の使用につきましてはご注意ください。
- 9) ゴム製目あての長時間使用を繰り返しますと皮膚に炎症を起こすことがあります。もし、うたがわしい症状があらわれましたら医師にご相談ください。

注意（双眼鏡について）

- 10) 双眼鏡は精密機械です。落したり、ショックを与えたり、自分で分解したりしないでください。
- 11) 本双眼鏡は防水双眼鏡ではありません。雨やしぶきなどが、かからないようにしてください。
- 12) ヒーターの前や直射日光下の車の中などに双眼鏡を放置しないでください。極度の高温のため双眼鏡が故障することがあります。
- 13) 双眼鏡の保管場所として実験室などのような薬品を扱う場所はサビ・腐蝕などの原因になるため避けてください。同様にタンスの中なども避けてください。
- 14) レンズが汚れた場合は、最初にプロアーブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除いてください。ボディおよびレンズは有機溶剤を使って拭かないでください。
- 15) 湿気の多いところではレンズ面にカビや曇りが生じやすくなります。長期間ご使用にならない場合は、レンズ表面やボディの汚れをよく拭き取り、風通しの良い、乾燥したところに保管してください。
- 16) 双眼鏡を寒いところから暖かいところに移すと、急激な温度の変化で双眼鏡の外部や内部に水滴が付着（結露）することがあります。そのようなときは、事前に双眼鏡をビニール袋に入れて、周囲の温度になじませてから取り出してください。また、暖かいところから寒いところに移すときも、同様にしてください。

この双眼鏡に採用されているすべての光学ガラスには、環境保護の観点から鉛成分が入っていない、鉛フリーガラスを使用しています。

⚠ 警告（電池について）

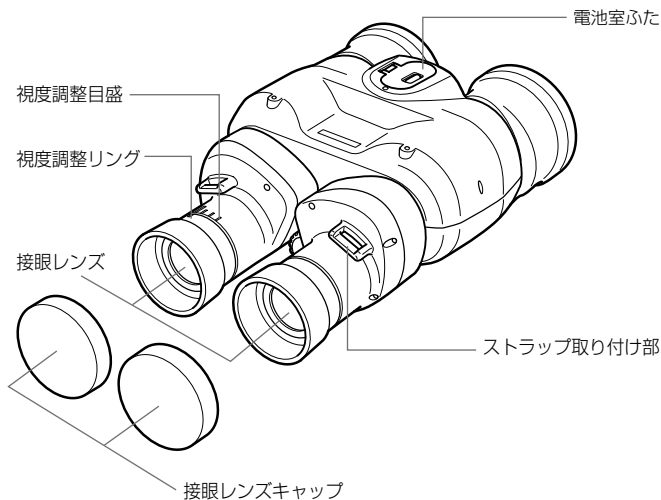
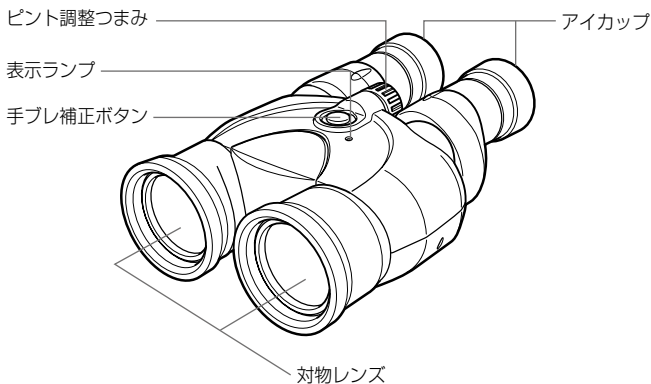
- 1) 電池本体または電池のパッケージに表示されている電池の公称電圧をよく確認して電池を使用してください。公称電圧が 1.5V より高い電池や、公称電圧の表示がない電池は絶対に使用しないでください。
発火、発煙が発生して、火災やけがの原因になることがあります。
- 2) 一部の「単 3 形リチウム電池」を使用した際に、まれに電池が非常に高温になることがあります。お客様の安全のため、「単 3 形リチウム電池」の使用はお控えください。
- 3) 電池の分解、充電（Ni-MH 二次電池を除く）、高温下での放置や加熱、接点間のショート、火の中への投げ入れなどは、絶対にしないでください。電池の液漏れ、発火、破裂が発生して、火災やけがの原因になることがあります。（二次電池とは、充電をして何度も再利用できるタイプの電池です）
- 4) 電池を交換するときは 2 本同時に交換してください。また、銘柄の違う電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の液漏れ、発火、破裂が発生して、火災やけがの原因になることがあります。
- 5) 長期間ご使用にならない場合や、電池を使いきったときは、電池を抜き取って保管するようにしてください。電池を入れたまま放置しておくと、液漏れを起こし機器の故障、汚損、火災の原因となります。
- 6) 電池の+と-の向きを正しく入れてください。電池の液漏れ、発火、破裂が発生して、火災やけがの原因になることがあります。

⚠ 注意（電池について）

- 7) 万一、電池の液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 8) 手ブレ補正ボタンを押しても表示ランプが点灯しない場合は、電池が消耗しています。電池を 2 本同時に同一銘柄の新品の電池に交換してください。

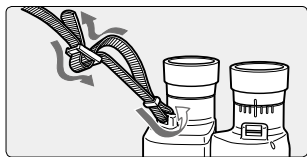
各部の名称

* イラストは 12 × 36 IS III のものです。



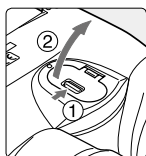
使用前の準備

* イラストは 12 × 36 IS III のものです。



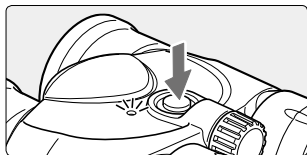
1 ストラップを取り付ける

- 止め具の部分にたるみがないことと、ストラップを引っばっても止め具の部分でゆるまないことを確認します。



2 電池を入れる

- 電池室ふたを開け、電池室内部の表示にしたがって「+」「-」をまちがえないよう電池をいれます。



3 表示ランプの点灯を確認する

- 手ブレ補正ボタンを押して表示ランプが点灯することを確認します。



- 電池の取り扱いに関しては、4 ページにある「△警告（電池について）」および、「△注意（電池について）」をよくお読みください。
 - 電池は 2 本とも同一銘柄の新品の電池を使用してください。また電池の交換は 2 本同時に行ってください。
 - アルカリ乾電池* 以外の単 3 型電池は、接点の形状が規格で統一されていないため、電池の銘柄により接触不良を起こすことがあります。
- * アルカリ乾電池とは、放電のみ行なうことが可能な使い切りタイプの一次電池です。

使用電池と連続使用時間（当社試験条件による）

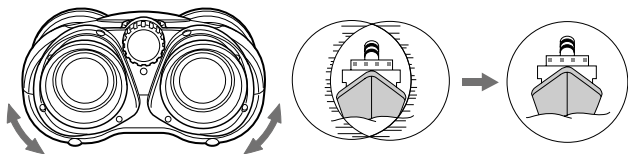
	25° C	- 10° C
単 3 形アルカリ乾電池 *	約 9 時間	約 1 時間

* アルカリ電池は、銘柄により使用時間が変わることがあります。



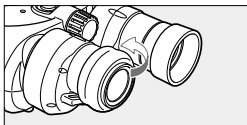
- 単 3 型のニッケル水素 (Ni-MH) 二次電池も使用できます。
- 二次電池とは、充電をすることで繰り返して使用できるタイプの電池です。

4 接眼部を眼の幅に合わせる

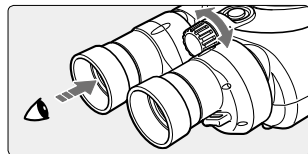


双眼鏡をのぞき、左右の視野が重なるまで接眼部の目幅を調整します。

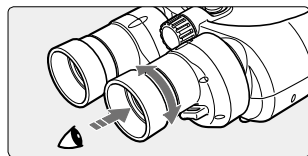
- 性能を十分に引き出し、目の疲労を少なくするためにおこないます。
- 接眼部と眼の幅を合わせるとき、できるだけ遠くのものを見たと合わせやすくなります。
- 眼鏡をかけたまま双眼鏡を使用するときは、アイカップを折り返します。



5 視度を調整する

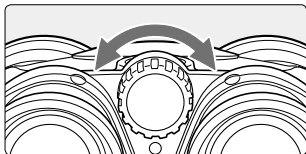


はじめに、左眼だけでのぞき、目標物がはっきり見えるまでピント調整つまみを回します。



次に、右眼だけでのぞき、左眼でピントを合わせた目標物がはっきり見えるまで視度調整リングを回します。

6 ピントの調整をする

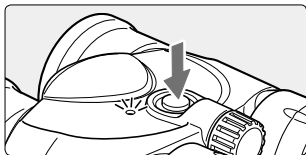


双眼鏡をのぞき、目標物がはっきり見えるまで、ピント調整つまみを回します。

手ブレ補正機能

双眼鏡を構えて目標物を見ているときに、手ブレにより像がゆれて、見にくくなることがあります。その場合、手ブレ補正機能を使用すると像を安定させることができます。

手ブレ補正機能は、手ブレ補正ボタンを押し続けている間だけ作動します。ボタンを離すと停止します。



手ブレ補正機能が作動している間は、表示ランプが点灯します。



- 体ごと大きくゆれる場所や手ブレが大きすぎると、手ブレが十分に補正されないことがあります。
- 急激なパンニングなどをしたときには、まれに像が一瞬不規則に動くことがあります。
- 電池が入っていない状態でも、通常の双眼鏡として使用できます。

「故障かな？」とお考えになるまえに

「故障したのかな？」と考えるまえに次の表を参考にして双眼鏡をチェックしてみてください。それでも症状に変化がなければ最寄りのキャノンサービスセンターにお持ちください。

症 状	原 因	解決方法
像が明瞭に見えない。	レンズが汚れていませんか？	ブローブラシでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
	接眼部を眼の幅に合わせていますか？	接眼部を眼の幅に合わせて下さい。 (7 ページ・手順 4 参照)
	視度調整してありますか？	視度調整してください。 (7 ページ・手順 5 参照)
	ピント調整してありますか？	ピント調整してください。 (8 ページ・手順 6 参照)
手ブレ補正機能が作動しない。	電池は入っていますか？	電池を入れて、電池容量が十分か確認してください。 (6 ページ、手順 2、3 参照)
	手ブレ補正ボタンを押すと表示ランプは点灯しますか？	点灯しないときは電池が消耗しています。電池を新品に交換してください。 (4 ページにある「△注意（電池について）」の 8 項をよくお読みください。)
手ブレ補正機能作動時に双眼鏡を大きく振ると異音がする。	電池が消耗しています。	電池を新品に交換してください。 (4 ページにある「△注意（電池について）」の 8 項をよくお読みください。)

主な性能一覧

	10 × 30 IS II	12 × 36 IS III
型式	プリズム双眼鏡	
倍率	10 倍	12 倍
入射ひとみ径	30mm	36mm
実視界	6°	5°
見かけ視界	55.3° (ISO14132-1 : 2002 に基づく表記)	
1,000m での視界	105m	87m
射出ひとみ径	3mm	
射出ひとみ距離	14.5mm	
焦点調整範囲	約 4.2m ~ ∞ (無限遠)	約 6m ~ ∞ (無限遠)
手ブレ補正方式	バリアングルプリズムによる光学補正式	
手ブレ補正角度	± 1°	± 0.8°
バッテリーチェック	表示ランプ (LED) 点灯	
電源	単3形アルカリ乾電池 (一次電池 * ¹) 2本 (単3形ニッケル水素 (Ni-MH) 二次電池 * ² も使用可能) *1: 一次電池とは、放電のみ行うことが可能な使いきりタイプの電池 *2: 二次電池とは、充電をすることで繰り返し使用できるタイプの電池	
作動保証環境	温度: -10°C ~ +45°C 湿度: 90%	
大きさ (W × H × D)	127 × 150 × 70 mm	127 × 174 × 70 mm
質量 (本体のみ、電池を除く)	約 600 g	約 660 g

※ 都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。なお、運賃諸掛りは、お客様にてご負担願います。
2. 本製品のアフターサービス期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
なお、弊社の判断によりアフターサービスとして同一機種または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の付属品をご使用いただけないことがあります。

キヤノン双眼鏡ホームページ：canon.jp/binoculars

キヤノンお客様相談センター：**050-555-90001**（直通）

受付時間 〈平日 / 土 / 日 / 祝〉 9 : 00 ~ 18 : 00

（1 / 1 ~ 3 は休ませていただきます）

※ 海外からご利用の方、または 050 から始まる IP 電話番号をご利用いただけない方は 03-3455-9353 をご利用ください。

※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Canon